

上級生の協力を  
新歓祭実行委員会が発足

今年の四月に新入生が入学してすでに八ヶ月たち、一年生も東洋水の水に十分なれ大きくなった事と思います。四、五月に新入生はいろいろな行事を行なうことにより、上級生と交際することにより、大学生活をスムーズにスタートできただから、いざいりあがりません。こうした新行管委員会を主催するのが新歓祭実行委員会ですが、昭和二十四年十二月二十日で新祭実行委員会が十二月二十一日で発足しました。

新歓祭の目的は四月に入学してくる新入生のために行われるものですが、上級生の協力なしには成らぬものであります。またこの新歓祭は上級生、あてては教員会を主とした上級生相互のつながりをもつ場としての唯一のいい機会でもあります。みなさんは何か新歓祭を楽しみのものを見発見するため、自分をためす場として頂いていたいと思います。きっかけとかれるものがある程度あります。運営にあたる委員会としても、新たに新歓祭実行委員会としても、参加して良かつたと思える新

の結果が、十一月十四日には発表された。結果は下表の通りである。本学の合格率は、一五・二五%、前年度の四五・三%と比べて、約二〇%の昇りが見られた。また既卒者のうち、六一年度の三月卒業者は一、二名受験、九名合格で合格率八〇・三六%となる。ところが、秋の国試が行われるのも今年が最後であるそれに伴い七月卒業の制度も廃止され、卒業保留者については、それらの学生の指導方針は現在教授会でも議論されておりうる。だが、その結論を目指したい。

## 第71回 薬剤師国家試験結果

(61年11月14日発表)

	受験者数	合格者数	合 格 率
新 卒	1 8 名	1 1 名	61. 1 1 %
既 卒	1 3 9 名	1 0 4 名	74. 8 2 %

### 〔全国平均との比較〕

	新卒	既卒	合計
本学	61.11%	74.82%	73.25%
全国平均	————	————	73.19%

冬が近づくにつれて、吐息も白く湧ついてきた。とりわけ朝の寒さは凍りつくようだ。この季節になると、東洋のキヤンバスでも霜柱を見かけることが多いある◆霜柱は、冬の夜温った地面にできる細い氷柱の集まりで、寒い日の朝などに日陰に残っていることがある。霜柱ができる原理は、面の中の水が表面に次々に上ってきて凍結する細い氷柱がして、直径二三ミリメートルの柱状の束になつて立つことによる。不思議なことに、外団ではあまり見られないことを、うだ◆この霜柱、元にひつぱされたつて残念がちである。しかし立つて、足元にひつきにくく、いたずらに踏みふぶされてしまふことは、忙しく述べて、残念がちである。しかし歩き回る人々の目に留まることは少しない。本當には、とても美しい輝くことができるのに◆今は、こうした季節の移り変わりを表す風物があちこちで見られる。そして、自然の変化と時を同じくして、執行交代の時期でもある。各期の執行の皆さんが任期を終え、新執行の皆さんがバトンを受け継いでゆく◆しかし、部門は各部の謹の下のしかかり、持ちの存在であり、その活動執行交代の皆さんが兼任一期を経験を表面にすることは少ない。霜柱と同じように、立ちたない仕事かもしれない◆それでも、それらは、これから執行をする皆さんには、きっと活動の意欲に燃えていることだろう。自分の意欲と旧執行の皆さんとの経験を十分に活かして、更に良い成長発展するよう、頑張つてほしいものである。立つてはいいものの、つとめに立つ霜柱の美しさに、ふと気付く人がいるように、部門の活動を暖かく見守り、その努力を理解してくれる人がいるのだから。⑤

昭和 61 年度

# 後期定例学生大会

- |      |               |           |
|------|---------------|-----------|
| 1号議案 | 交通問題1         | (バス問題)    |
| 2号議案 | 交通問題2         | (駐車場問題)   |
| 3号議案 | 交通問題3         | (駐車許可証)   |
| 4号議案 | 教務問題1         | (教務懇談会から) |
| 5号議案 | 教務問題2         | (図書館について) |
| 6号議案 | 多目的ホール(仮称)の設置 |           |
| 7号議案 | 昭和62年度新歓祭について |           |

日時：昭和61年12月10日（水）

P. M. 1 : 30 ~

場所：体育館

多数の御参加をお待ちしています。

執行委員會



